

# 資料

- 1 印西市史編さん委員会設置条例
  - 2 印西市史編さん専門委員設置要綱
  - 3 市史研究誌『印西の歴史』編集要項
  - 4 印西市史編さん事業基本方針
  - 5 印西市史 資料編 近現代2 概要
  - 6 印西市史 資料編 近現代2 刊行スケジュール
  - 7 平成 29 年度事業報告
-



## ○印西市史編さん委員会設置条例

昭和59年3月19日条例第3号

## 改正

平成8年3月26日条例第42号

平成9年3月28日条例第15号

平成10年3月27日条例第9号

## 印西市史編さん委員会設置条例

## (設置の目的)

第1条 本市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述し、市民の郷土に対する理解と愛郷心の高揚を図るとともに、市勢の発展に寄与することを目的として印西市史編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (委員会の任務)

第2条 委員会は、市史編さんに関し、印西市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、調査及び審議する。

## (委員)

第3条 委員会は、20人以内の編さん委員で組織し、識見を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

## (委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

## (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

## (会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

## (庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

## (委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、委員会に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

## 附 則

この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月26日条例第42号）

この条例は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年3月28日条例第15号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成10年3月27日条例第9号）

この条例は、平成10年4月1日から施行する。



## ○印西市史編さん専門委員設置要綱

平成19年9月10日教育委員会告示第6号

## 印西市史編さん専門委員設置要綱

## (設置)

第1条 印西市史（以下「市史」という。）の調査研究、執筆及び編集に当たるため、印西市史編さん専門委員（以下「専門委員」という。）を置く。

## (委員)

第2条 専門委員は、次に掲げる者とし、学識経験者及び市職員のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

(1) 編集委員 15人以内

(2) 調査研究員 30人以内

2 専門委員の任期は、担当部門の市史刊行の完了時までとする。

3 教育委員会は、特別な事由があると認めるときは、専門委員の職を解くことができる。

## (任務)

第3条 編集委員は、担当部門の市史の調査研究、執筆及び編集に当たる。

2 調査研究員は、編集委員の指示に従い、調査研究及び執筆に当たる。

## (編集会議)

第4条 市史の編集事務を円滑に行うため、編集会議（以下「会議」という。）を置く。

2 会議は、編集委員をもって構成し、教育長が招集する。

3 会議の議長は、編集委員の互選により定める。

4 議長が必要と認めるときは、調査研究員の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

5 会議は、必要に応じて部門ごとに部会を設け、運営することができる。

## (部会)

第5条 専門委員は、部門別に部会を構成するものとする。

## (庶務)

第6条 専門委員の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

## (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

## 附 則

この告示は、公示の日から施行する。





## 市史研究誌『印西の歴史』編集要項

平成19年5月12日作成

平成26年5月12日修正

平成27年4月15日修正

印西市史編さん委員会

## 1. 編集方針

- (1) 市史研究誌『印西の歴史』（以下『印西の歴史』という。）は、印西市を中心とした地域の歴史、民俗、自然等に関する研究成果を掲載し、これからの印西の文化を担う人々の発表の場として活用することを目的として発行する。
- (2) 『印西の歴史』は、印西市史編さん事業に係る調査研究、資料収集などの成果を掲載するとともに、一般市民等による（1）の目的に合致する論考、研究ノート、資料紹介など（以下「論文等」という。）を掲載する。
- (3) 『印西の歴史』の編集は、印西市史編さん委員会が行う。

## 2. 組織

- (1) 印西市編さん委員会は、印西の歴史編集委員会を組織する。  
編集委員長 編さん委員 1名  
編集委員 編さん委員及び職員 若干名
- (2) 編集委員長は編さん委員長が指名し、編集委員は編集委員長が編さん委員及び事務局職員から指名する。
- (3) 編集委員長は、編集の経過及び結果を編さん委員会に報告するものとする。

## 3. 仕様

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 書名   | 印西の歴史   |
| (2) 編集   | 印西市史編さん委員会  |
| (3) 体裁   | A5版 縦書 2段組 1段26字×22行（1ページ1144字）<br>本文 明朝体・9ポイント<br>用紙（本文）書籍用紙・（扉絵）コート紙<br>（表紙）OK サンドカラー・マットPP加工紙<br>無線とじ・見返し付 |
| (4) 頁数   | 100～150ページ  |
| (5) 発行部数 | 600部  |
| (6) 価格   | 500円程度  |
| (7) 配布計画 | 無償配布 市内小中学校、図書館、印旛歴史民俗資料館等、<br>県内教育委員会等関係機関、行政事務用、執筆者、<br>協力者<br>有償配布 購入希望者                                   |

#### 4. 原稿の分量

印西市史編さん委員会が依頼した原稿の分量は、原則として写真・図版等を含めて400字詰め原稿用紙に換算して50枚以内（17.5ページ）とする。投稿原稿については、原則として写真・図版等を含めて400字詰め原稿用紙に換算して30枚以内（10.5ページ）とする。

#### 5. その他

(1) 原稿料は、支払う。ただし、予算の範囲内とする。



## 印西市史編さん事業基本方針

平成25年3月18日  
印西市史編さん委員会  
平成26年5月12日修正  
平成30年2月22日修正

## 1 策定の経緯及び趣旨

旧印西市（旧印西町）では、昭和59年度に町史編さん事業の着手にあわせて町史編さん室を設置し、「印西町史編さん事業基本計画」（昭和59年度策定）及び「印西市史編さん事業の事業方針について（答申）」（平成10年度答申）に基づき、所管組織の変更を伴いつつ各種事業を推進してきた。

ところが、近年、千葉ニュータウン事業の進展や旧印旛村・旧本埜村との市村合併等、行政をとりまく社会情勢も大きく変化し、新たな指針の必要性が生じている。

以上から、この基本方針は、新たな印西市史編さん事業を実施するにあたり、印西市総合計画で示された将来都市像「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」の実現に向け、市史編さんの基本的な方向性を示すとともに、市史編さん事業のよりどころとするために策定するものである。

## 2 市史編さんの目的

市史編さんの目的は、以下のとおりとする。

- (1) 市域に関する歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史の刊行により、郷土に対する理解と関心を深め、市民のふるさと意識の醸成を図る。
- (2) 市域に関する歴史、自然及び伝統文化をあらためて掘り起こすことにより、印西市の発展と文化の向上に寄与するとともに、市民主体のまちづくりに役立てる。
- (3) 市域に関する人々の諸活動を記録した地域史料を次世代に引き継いでいくため、公文書の移管や古文書等の調査収集を行い、適正な保存に努めるとともに活用を図る。

## 3 市史編さんの基本方針

市史の編さんは、以下の基本方針に基づいて行うものとする。

- (1) 『印西町史』、『印旛村史』、『本埜村史』をはじめ、既往の諸研究を参考としながら、各学問分野における最新の成果を盛り込んだ市史を編さんする。
- (2) 旧市村の編さん事業との整合性を図り、これまで未完となっている時代や地域を優先して編さんする。
- (3) 学術的な検証に耐えうる高い水準を保ちながら、平易簡潔な文体で市民が読みやすい市史を編さんする。
- (4) 資料は市内外から広く収集し、必要に応じて調査を行う。
- (5) これまでの合併の経過を踏まえ、印西の地域的、歴史的、文化的な特性に配慮しな

がら編さんする。

- (6) 写真や図版を多く使用するほか、DVD等のデジタルメディアも積極的に活用を検討し、広く市民に親しまれる市史を編さんする。
- (7) 市民共通の財産として、まちづくりや生涯学習、学校教育等での活用に配慮した市史を編さんする。
- (8) 市民ボランティアの活用を図る等、市民参画の機会拡充に努める。
- (9) 地域の研究団体や個人、各種教育機関等と連携し、郷土の歴史を掘り起こすことに努めるほか、編さん理念の普及と将来の人材育成を図る。
- (10) 編さん事業で調査、収集した資料は、将来の活用に向けて適正に保存、管理し、広く市民に公開できる体制づくりに努める。

#### 4 刊行計画

- (1) 市史は、本編、別編及び資料編から構成する。
- (2) 市史編さんの期間は、合併10周年を迎える平成32年度までを第一次計画期間とし、刊行計画は別表のとおりとする。
- (3) 刊行計画は、資料の調査・収集状況や事業計画の進捗状況等により、随時見直しを行う。

#### 5 頒布方法

市史の編さんにあたっては、発行部数や体裁等を含め、市民が読みやすく購入しやすい価格設定、方法となるよう努める。

#### 6 付帯事業

編さん事業に対する市民の理解を得るとともに、調査成果の還元や普及に努めるため、以下の付帯事業を行う。

- (1) 市史研究誌『印西の歴史』の定期的な刊行
- (2) 印西歴史ガイドブック『印西名所図会』（改訂版）の刊行
- (3) 資料目録や調査報告書類の刊行
- (4) 講演会・講座等の開催

#### 7 編さん組織

市史編さんに伴う組織は、以下のとおりとする。

- (1) 市史編さん委員会  
市史編さんに関し、教育委員会の諮問に応じ、調査及び審議する。
- (2) 市史編さん専門委員編集会議  
市史編さん委員会を代表する者及び専門部会を代表する者で構成し、市史の内容や具体的な編集方針等、市史の編集に関する重要で専門的な事項について協議する。
- (3) 市史編さん専門委員専門部会  
分野別、時代別に設置し、本編、別編及び資料編に関する資料調査ならびに執筆等を

行う。

## 8 事務局

- (1) 市史編さんに関する事務は、木下交流の杜歴史資料センターが取扱う。
- (2) 編さん事業を円滑に遂行するため、事務局の組織体制については常に適正な人員配置と施設の整備に努めるものとする。

## 9 その他

この基本方針に定めるもののほか、市史の編さんに必要な事項は別に定める。



別表 第一次刊行計画

	内 容	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年 度以降	
本 編	通史編 1 (原始・古代)	資料収集・調査・分析					(第二次刊行計画)				第 二 次 刊 行 計 画
	通史編 2 (中世)	資料収集・調査・分析									
	通史編 3 (近世)	資料収集・調査・分析									
	通史編 4 (近現代)	資料収集・調査・分析					編集準備		原稿執筆		
別 編	自 然	(第二次刊行計画)									
	民 俗	(第二次刊行計画)									
資 料 編	原始・古代	資料収集・調査・分析					(第二次刊行計画)				
	中 世	資料収集・調査・分析									
	近 世	資料収集・調査・分析									
	近現代 1	資料収集・調査・分析					編集準備		原稿執筆		
	近現代 2	資料収集・調査・分析			編集準備		原稿執筆		校正・刊行		
付 帯 事 業	印西の歴史		刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行	刊行		
	印西名所図会	調査・執筆	調査・執筆		校正・刊行						

## 印西市史 資料編 近現代2 概要

平成30年4月現在

書名 印西市史 資料編 近現代2

刊行予定 平成31年3月

仕様 A4判 横書 500頁  
史料 約450頁・解説 約20頁・口絵等(カラー) 約8頁  
上製本・箱付  
500部

構成 発刊のことば(市長・教育長)

凡例

目次

史料(別添一覧)

第1章 行政

第2章 産業

第3章 開発

第4章 教育・文化

第5章 生活

解説

あとがき(市史編さん委員会委員長)

## 史料一覧

平成30年5月8日現在

## 第1章 行政

- 1-1 大森町木下両町合併経過について 昭和28(1953)年3月12日
- 1-2 大森町木下両町合併促進に関し木下町合併促進委員会経過報告  
昭和28(1953)年
- 2 新町建設計画に対する意見について 昭和29(1954)年10月28日
- 3 〔印旛地方事務所長と合併意見交換について〕 昭和30(1955)年6月13日
- 4 合併問題経過報告 昭和30(1955)年11月27日
- 5 宣言〔分町合併推進委員会〕 昭和30(1955)年12月18日
- 6 町村合併実施計画書〔本埜村〕 昭和31(1956)年2月15日
- 7 町村合併について 昭和31(1956)年3月27日
- 8 〔栄町との合併促進について〕 昭和31(1956)年4月16日
- 9 昭和三十二年一月十七日町村合併に関する記録 昭和32(1957)年1月17日
- 10 昭和三十二年一月二三日町村合併報告について 昭和32(1957)年1月23日
- 11 〔本埜村議会 栄町編入の審議〕 昭和32(1957)年1月26日～2月19日
- 12 復命書〔本埜村合併促進について〕 昭和32(1957)年1月31日
- 13 〔本埜村議会 印西町編入の審議〕 昭和32(1957)年3月11日～18日
- 14 昭和三十二年四月拾五日町村合併に関する協議会記録  
昭和32(1957)年4月15日
- 15 陳情書〔本埜村合併促進同盟〕 昭和32(1957)年5月7日
- 16 〔町村合併についての回答〕 昭和32(1957)年5月24日
- 17 決議〔印旛村合併促進青壮年同盟〕 昭和32(1957)年6月12日
- 18 声明書〔印旛村合併促進青壮年同盟〕 昭和-年6月12日
- 19 印旛郡本埜村の合併紛争の調停について 昭和32(1957)年7月20日
- 20 印旛郡本埜村の合併紛争の調停について 昭和32(1957)年7月20日
- 21 町村合併に関する照会について 昭和32(1957)年11月1日
- 22 認可申請書 昭和33(1958)年7月1日
- 23 村民の皆様に告ぐ 昭和34(1959)年4月13日
- 24 新村建設計画現況分析書 印旛村〔抄〕 昭和34(1959)年
- 25 現況分析書 印西町〔抄〕 昭和35(1960)年
- 26 総合開発基本構想〔抄〕 昭和47(1972)年6月
- 27 印西町を印西市とすることについての申請書〔抄〕 平成8(1996)年
- 28 本埜村総合計画策定委員会関係〔抄〕 昭和61(1986)年9月
- 29 「新市まちづくり計画」の策定に向けた主要事業(案)について〔抄〕  
平成16(2004)年1月7日
- 30 第17回印西市、白井市、印旛村、本埜村合併協議会会議録〔抄〕  
平成16(2004)年4月14日

- 31 第1回印西市、白井市、印旛村、本埜村合併協議会会議録〔抄〕  
平成 20(2008)年 10 月 24 日
- 32 打ち合わせ記録  
平成 20(2008)年 10 月 31 日

## 第2章 産業

### 第1節 農林業

#### 農業

- 33 農業改良実行員協議会開催について  
昭和 26(1951)年 4 月 7 日
- 34 水稲浸水に対する病虫害対策について  
昭和 27(1952)年 6 月 25 日
- 35 昭和 28 年度水稲保温折衷苗代設置計画について  
昭和 27(1952)年 11 月 22 日
- 36 〔印西町の農業生産〕  
昭和 34(1959)年 3 月
- 37 六軒共同育苗ハウス建設補助金交付申請書  
昭和 46(1971)年 1 月 27 日
- 38 補助金交付要望について〔優良豚品種の導入〕  
昭和 47(1972)年 1 月 24 日
- 39 〔印旛村議会 吉岡敏夫村長の農業論〕  
昭和 51(1976)年 3 月 11 日
- 40 印西町若い農業経営者会議設立総会資料〔抄〕  
昭和 55(1980)年 7 月 12 日
- 41 昭和 56 年度宮内集落表彰への足跡  
昭和 56(1981)年度
- 42 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想〔抄〕  
平成 7(1995)年 2 月
- 43 鳥獣捕獲許可申請書  
平成 8(1996)年 8 月 19 日
- 44 国内 7 例目の B S E 患畜生産農場から本県に導入された牛について  
平成 15(2003)年 2 月 20 日

#### 林業

- 45 造林地手入れについて  
昭和 27(1952)年 8 月 13 日
- 46 昭和 35 年度松毛虫薬剤駆除事業の施行について(照会)  
昭和 35(1960)年 3 月 8 日
- 47 印西町林業振興計画書〔抄〕  
昭和 57(1982)年度

### 第2節 商工業・観光業

#### 商業

- 48 〔印西町商店街の現状〕〔抄〕  
昭和 43(1968)年 6 月
- 49 事業計画書〔印西町商工会館建設について〕  
昭和 51(1976)年 5 月 26 日
- 50 小林ショッピングセンター開設に関するご説明資料  
昭和 58(1983)年 10 月
- 51 平成 7 年入込観光客調査について(報告)  
平成 8(1996)年 1 月 29 日

#### 工業

- 52 印西町企業誘致条例  
昭和 35(1960)年 6 月 28 日
- 53 企業誘致委員会々議記録  
昭和 39(1964)年 8 月 28 日
- 54 昭和 42 年度分印西町企業誘致奨励措置奨励金の交付について  
昭和 43(1968)年 4 月 17 日
- 55 印西松崎地区調査・基本計画報告書  
昭和 59(1984)年 4 月
- 56 平成 9 年度工場適地調査について(報告)〔印旛中央地区〕



平成9(1997)年11月13日

### 第3章 開発

#### 第1節

- |    |                      |                  |
|----|----------------------|------------------|
| 57 | 印旛沼手賀沼干拓計画概要         | 昭和21(1946)年1月    |
| 58 | 陳情書〔緊急堤防工事の件〕        | 昭和24(1949)年3月    |
| 59 | 大菅喜一宛山本鉄男書簡          | 昭和27(1952)年6月5日  |
| 60 | 昭和29年度発作土地改良区事業報告書   | 昭和30(1955)年4月3日  |
| 61 | 陳情書〔発作土地改良区組員負担軽減に付〕 | 昭和31(1956)年8月29日 |
| 62 | 陳情書〔山下機場早期完工に付〕      | 昭和32(1957)年6月1日  |
| 63 | 昭和35年 手賀沼周辺落掘改修陳情書   | 昭和35(1960)年      |
| 64 | 高松宮殿下手賀沼干拓御視察言上      | 昭和35(1960)年5月12日 |
| 65 | 国営手賀沼干拓土地改良事業変更計画概要書 | 昭和38(1963)年11月   |
| 66 | 決議〔手賀沼の治水及び利水について〕   | 昭和43(1968)年3月2日  |
| 67 | 宣言〔治水利水の抜本対策樹立に付〕    | 昭和44(1969)年3月16日 |
| 68 | 決議〔手賀沼排水機場増強等に付〕     | 昭和44(1969)年3月16日 |
| 69 | 北千葉導水揚排水機設置促進についての要望 | 昭和51(1976)年9月24日 |
| 70 | 手賀沼地区干拓土地改良事業概要書     | 昭和52(1977)年3月    |

#### 第2節 開拓

- |    |                |                  |
|----|----------------|------------------|
| 71 | 〔元印旛飛行場の開拓者調書〕 | 昭和21(1946)年9月    |
| 72 | 〔開拓入植者実態調査書〕   | 昭和22(1947)年1月31日 |
| 73 | 昭和二十三年地元増反申請   | 昭和23(1948)年      |
| 74 | 西瓜談義           | 昭和32(1957)年7月20日 |

#### 第3節 千葉ニュータウン

##### 用地買収と建設の進行

- |    |  |                  |
|----|--|------------------|
| 75 | 〔新聞記事 県のニュータウンづくり〕                     | 昭和41(1966)年5月10日 |
| 76 | 〔土地取得価格の設定について〕                        | 昭和42(1967)年1月11日 |
| 77 | 〔印旛村議会 千葉ニュータウン内の村有財産の処分について〕          | 昭和42(1967)年9月30日 |
| 78 | ニュータウン関係町村事務担当者打ち合わせ会議について(関係通知)       | 昭和45(1970)年8月3日  |
| 79 | 〔印旛村議会 村長よりニュータウンの現況報告〕                | 昭和46(1971)年6月29日 |
| 80 | 営農調整地はどうか                              | 昭和46(1971)年6月    |
| 81 | 本八幡～印旛松虫間運輸数量表                         | 昭和53(1978)年度     |
| 82 | 千葉ニュータウン入居に伴う印旛町における財政問題の解決策について(案)〔抄〕 | 昭和55(1980)年度     |
| 83 | 千葉ニュータウン駅前センタービル株式会社ご案内 複合的機能のニュータウン   |                  |

- 昭和 56(1981)年 5 月 25 日
- 84 北総地域広域都市整備計画調査〔抄〕 平成元(1989)年 3 月
- 85 通称 7 駅の駅名について (要望) 平成 6 (1995)年 2 月 9 日
- 86 千葉ニュータウン 23 住区近隣センター基本計画報告書〔抄〕 平成 6 (1995)年 9 月
- 87 都市景観大賞の応募申請について (依頼) 平成 8 (1996)年 7 月
- 88 〔新聞記事 ニュータウン 頑張らなくちゃ!千葉〕 平成 10(1998)年 3 月 15 日
- 89 千葉ニュータウン 24 住区の新町名について (依頼) 平成 10(1998)年 10 月 27 日
- 90 千葉ニュータウン 24 住区の地区愛称の決定について 平成 10(1998)年 12 月 24 日
- 91 成田新高速鉄道ボーリング調査説明会議事録 平成 13(2001)年 7 月 23 日

#### 第 4 章 教育・文化

##### 第 1 節 学校教育

- 92 〔敗戦直後の学校経営 永治小学校〕 昭和 22(1947)年度～昭和 24 年度
- 93 『教育新聞』10 月号〔六合村 PTA〕 昭和 22(1947)年 10 月 10 日
- 94 『教育新聞』11 月 12 月合併号〔六合村 PTA〕 昭和 22(1947)年 12 月 10 日
- 95 冬期休業中に於ける児童生徒風紀取締に関する御願い 昭和 23(1948)年 12 月 21 日
- 96 本埜中学校建設問題会議 昭和 23(1948)年 10 月～昭和 26 年 10 月
- 97 昭和 23 年度教育報告撮要〔六合小学校〕 昭和 24(1949)年 3 月 23 日
- 98 昭和 27 年度～昭和 30 年度 〔学校経営の反省 大森中学校〕 昭和 24(1949)年度
- 99 〔社会科学学習指導案 大森小学校〕 昭和 28(1953)年 2 月 13 日
- 100 中学校統合に関する答申書〔木下中・大森中・永治中〕  
昭和 32(1957)年 2 月 25 日
- 101 〔本年度の特記事項 印西中学校〕 昭和 44(1969)年度～昭和 47 年度
- 102 昭和 45 年度 PTA 運営研究会提案要項〔子どもの交通事故防止〕  
昭和 45(1970)年 11 月 26 日
- 103 教育施設の現状と当面の課題 昭和 50(1975)年 10 月
- 104 〔本年度をふりかえって 印西中学校〕 昭和 62(1987)年度～平成元(1989) 年度

##### 第 2 節 社会教育

- 105 昭和 31 年 2 月 印西町公民館運営状況 昭和 31(1956)年 2 月
- 106 映画日誌 昭和 31(1956)年 5 月～昭和 32 年 10 月
- 107 印西音頭会議資料 昭和 38(1963)年 9 月 25 日
- 108 印西音頭歌詩募集佳作入選について 昭和 38(1963)年 11 月 22 日

##### 第 3 節 青少年

- 109 昭和 30 年度 印西町夏季移動青年学級教育キャンプ講習会 焚火 (抄)  
昭和 30(1955) 年度
- 110 『はらっぱ』創刊号〔抄〕 昭和 32(1957)年 5 月 25 日
- 111 『月刊芝生』第 4 号〔抄〕 昭和 36(1961)年 9 月 5 日

- 112 インベーターの実態調査 昭和 54(1979)年 5 月 22 日  
 113 児童生徒の健全育成について 昭和 54(1979)年 6 月 5 日

#### 第 4 節 社会体育

- 114 印西町社会体育振興について社会体育関係者打ち合せ会開催について 昭和 32(1957)年 9 月 7 日  
 115 [町民運動会開催の趣旨] [昭和 32(1957)年]  
 116 第 1 回町民大運動会開催につき準備委員会の開催について 昭和 32(1957)年 10 月 2 日  
 117 印西町第 1 回町民大運動会実施要項 [昭和 32(1957)年 10 月]  
 118 第 1 回町民大運動会商品寄附依頼について 昭和 32(1957)年 10 月 23 日

#### 第 5 節 文化

- 119 『六合仏教』創刊号 [抄] 昭和 24(1949)年 3 月 18 日  
 120 『愛郷』創刊号 [抄] 昭和 28(1953)年 7 月 5 日

### 第 5 章 生活

#### 第 1 節 戦後の厚生事業

##### 戦争犠牲者への救済事業

- 121 船穂村未亡人会々則案 昭和 24(1949)年  
 122 [ララ物資受領証・救済物資配給明細表] 昭和 25(1950)年 3 月 25 日  
 123 陳情書 [船穂村未亡人会一同] 昭和 25(1950)年 7 月 27 日  
 124 遺族援護署名運動に関する件 昭和 26(1951)年 4 月 4 日  
 125 遺族援護に絨する陳情書 [昭和 26(1951)年]  
 126 印旛村遺族会規約 昭和 31(1956)年 3 月 10 日  
 127 出張生活相談実施について 昭和 34(1959)年 10 月 5 日

##### 地域社会における厚生事業

- 128 民生委員常例協議会開催通知 昭和 25(1950)年 7 月 19 日  
 129 季節保育所等の資料について [昭和 26(1956)年 7 月 4 日]  
 130 宗像郷友会規約 昭和 31(1956)年 8 月

#### 第 2 節 生活改善

##### 生活の合理化

- 131 六合村に於ける生活改善事項 昭和 23(1948)年 10 月  
 132 農村に於ける『カマド』改善の必要性について 昭和 27(1952)年 11 月 12 日  
 133 印旛郡生活改善実践要項 昭和 28(1953)年

##### 婦人会活動

- 134 大森町婦人会会報 第 6 号 昭和 29(1954)年 2 月 28 日  
 135 印西町中央婦人学級開設要項 昭和 35(1960)年 4 月



- 136 〔婦人会会員の随筆〕 昭和 36(1961)年度  
 137 第 1 回婦人新生活学級開催要領 (案) 〔昭和 36(1961)年〕  
 138 第 1 回婦人新生活運動について (通知) 昭和 36 年(1961)年  
 139 佐倉保健所管内保健衛生推進委員設置要領 〔昭和 36(1961)年〕  
 140 『婦人会』についてのアンケート集計及び考察〔抄〕 昭和 55(1980)年 6 月 16 日

### 第 3 節 保健衛生・伝染病予防

- 141 永治村国民健康保険条例 昭和 26(1951)年度  
 142 永治村国民健康保険直営診療所設備の概要 昭和 26(1951)年度  
 143 〔佐倉保健所 印西地区連絡所設置要領〕 〔昭和 27(1952)年〕  
 144 佐倉保健所 昭和 27 年度事業計画〔抄〕 〔昭和 27(1952)年〕  
 145 伝染病隔離病舎設立準備協議会開催について 昭和 27(1952)年 4 月 21 日  
 146 白井村外 7 ケ町村伝染病隔離病舎組合同規約 (案) 〔昭和 27(1952)年〕  
 147 白井村外 7 ケ町村伝染病隔離病舎組合設立説明書 昭和 27(1952)年  
 148 春季清潔法実施並びに日割り通知の件 昭和 28(1953)年 4 月 6 日  
 149 昭和 28 年度腸チブス・パラチフス予防注射実施について  
 昭和 28(1953)年 5 月 20 日  
 150 皆さん!! 赤痢を防ぎましょう (ビラ) 〔昭和 28(1953)年〕  
 151 印旛伝染病院組合同規約 昭和 29 (1954)年 3 月 31 日  
 152 〔印旛伝染病院管理に関する契約書に関する議案〕 昭和 29(1954)年 3 月 31 日  
 153 〔印旛村議会 保健センター設置・保健婦の配置についての説明〕  
 昭和 54(1979)年 6 月 30 日・同年 8 月 27 日  
 154 千葉ニュータウン医療基本計画 (案)〔抄〕 平成 2 (1990)年 1 月 15 日  
 155 本埜村保健推進員設置要領 平成 6 (1994)年 4 月 1 日

### 第 4 節 印旛学園都市開発 (順天堂大学)・日本医科大学病院の誘致

#### 印旛学園都市開発 (順天堂大学誘致)

- 156 〔印旛村議会 大学誘致のついでの説明〕 昭和 53(1978) 3 月 10 日  
 157 〔印旛村議会 順天堂大学誘致に関する説明〕  
 昭和 57(1982) 3 月 11 日・同年 6 月 30 日  
 158 印旛学園都市開発事業 計画概要書 昭和 58(1983)年 7 月  
 159 〔新聞記事 調整区域内の大型宅地開発〔抄〕〕 昭和 59(1984)年 1 月 11 日  
 160 印旛学園都市開発事業、関連教育施設計画について 昭和 60(1985)年  
 161 順天堂大学新キャンパス建設工事計画概要説明書〔抄〕 昭和 61(1986)年  
 162 〔印旛村議会 順天堂大学開校に伴う平賀地区整備についての質疑〕  
 昭和 63(1988)年 3 月 9 日

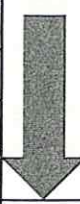
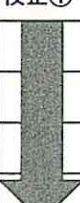



#### 日本医科大学病院の誘致

- 163 〔新聞記事 日本医科大の病院誘致〕 昭和 62(1987)年 1 月 7 日  
 164 〔印旛村議会 順天堂大学開校と日本医科大学病院誘致についての説明〕

- 昭和 62(1987)年 12 月 21 日・同月 22 日
- 165 〔病院開設許可〕 昭和 63(1988)年 3 月 26 日
- 166 宅地開発事前協議申出書に対する意見について〔印旛村〕 平成 2 (1990)年 9 月 3 日
- 167 宅地開発事前協議申出書に対する意見について〔本埜村〕 平成 2 (1990)年 9 月 3 日
- 168 日本医科大学印旛校地の印旛村都市計画上の位置付けについて 平成 2 (1990)年 11 月 19 日
- 169 病院用地として印旛村を選定した理由 平成 3 (1991)年 4 月 24 日

平成30年度 印西市史 資料編近現代2 刊行スケジュール（予定）

平成30年5月10日現在

時期		工程	会議
4月	上旬	筆耕原稿確認 (入稿準備原稿作成) 原本校正 掲載史料一覧作成	
	中旬		4/14近現代部会
	下旬		4/26編集会議
5月	上旬		
	中旬		5/11市史編さん委員会 5/19近現代部会
	下旬		
6月	上旬		
	中旬		近現代部会
	下旬		
7月	上旬		
	中旬		近現代部会
	下旬		市史編さん委員会
8月	上旬	入稿	近現代部会
	中旬		
	下旬		
9月	上旬		
	中旬	校正①・原本校正	近現代部会
	下旬		
10月	上旬		
	中旬		
下旬	近現代部会		
11月	上旬		
	中旬		
	下旬		近現代部会
12月	上旬	校正②	
	中旬		近現代部会
	下旬		
1月	上旬		
	中旬		近現代部会
	下旬	校正③	
2月	上旬		近現代部会
	中旬		印刷・製本
	下旬		
3月	上旬		市史編さん委員会
	中旬	納品	近現代部会
	下旬	頒布準備	





## 木下交流の杜歴史資料センター平成29年度事業報告

## 1 市史編さん事業

## (1) 印西市史編さん委員会の開催 (1回)

第1回 平成30年2月22日

平成29年度事業報告について

平成30年度事業計画(案)について

印西市史編さん事業基本方針の修正について

## (2) 印西市史編さん専門委員専門部会等の開催

## ア 編集会議の開催 (2回)

第1回 平成29年5月11日

平成28年度各専門部会活動報告について

平成29年度各専門部会活動計画について

資料編近現代2について

第2回 平成30年2月8日

資料編近現代2進捗状況について

印西市史編さん事業基本方針修正について

平成29年度及び平成30年度各専門部会活動について

## イ 中世部会の活動 (31回)

市内の城郭・板碑調査等の実施。

## ウ 近世部会の活動 (4回)

市内所在古文書等の調査、研究を実施。

## エ 近現代部会の活動 (58回)

資料編近現代2の編集作業、行政資料、教育資料、個人資料等の調査、研究、史料筆耕297点を実施。

## (3) 市史の刊行

市史研究誌「印西の歴史」第11号の発行(95頁・600部)

内 容

論考

松浦眞二「地域の共助と仏教者による感化救済事業-地方改良運動期の六合村慈善会の活動-」

研究ノート

村越博茂「明治前期の木下街道」

村上昭彦「山根山不動尊奉納額と画師・豊岡東江について」

講演録

中澤恵子「平成 29 年度市史編さん講演会 講演録「残された史料から見る地域社会における伝染病予防対策」

頒 布 無償頒布（市内小中学校、関係機関、協力者）

有償頒布（頒布価格 500 円（予定））

## 2 地域史料保存事業

### (1) 古文書等史料の整理・保管

ア 古文書、新聞資料、地域資料等の収集

イ 所蔵史料の整理作業の実施

### (2) 歴史公文書の引継・収集及び整理・保管

ア 文書廃棄に伴う歴史公文書等の移管（5～6月）

イ その他行政資料等の収集（市行政資料 150 件）

ウ 新規受入資料の整理、保管

## 3 普及・活用事業

### (1) 歴史資料センター展示事業

・開館日数 285 日/年度

・見学者数 3,506 人

ア 展示事業

・常設展（年間）

・ミニ企画展

名 称：木下河岸と木下茶船

会 期：4月25日～6月30日（54日間）

関連行事：フロアレクチャー 4月25日、5月2日、6月1日

見学者数：1,212 人

イ 展示説明（希望団体・事前申し込み制） 10 件

### (2) 市史講座等の開催

ア 市史編さん講演会の開催

開催日：平成 30 年 1 月 21 日（日）

場 所：中央公民館 視聴覚室

内 容：

演 題 残された史料から見る地域社会における伝染病予防対策

講 師 中澤恵子市史編さん委員

参加者数 16 人

イ 市史編さん講座

講座名：木下河岸旧記を読む

開催日：全10回 平成29年5月～平成30年2月 毎月第3水曜日

場 所：木下交流の杜歴史資料センター 作業室

講 師：職員

参加者数：のべ92人

(3) 保管資料の活用 4件

史資料の閲覧、掲載、貸出等。

(4) 市史情報の提供 14件

地域の歴史や史料に関する問い合わせに対応。

(5) 市史刊行物の頒布 266冊

歴史資料センター、印旛歴史民俗資料館、各公民館・地域交流館、市役所で頒布。

